



社長メッセージ

持続的成長を実現していくために、私たちは未来に向けて挑戦します

代表取締役社長 西田義則

Sustainability



私たちを取り巻く環境および課題

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、社会・経済活動への影響の長期化が懸念されています。また、日本各地で自然災害が発生しており、人々の生活へ深刻な影響を及ぼしています。

このような状況の中、民間設備投資の減少が予想されますが、防災・減災、国土強靱化施策による公共建設投資は底堅く推移し、一定の水準は維持されると見込まれます。一方で、建設投資の内容としては、インフラの新設から維持修繕へとシフトが進み、PFI・コンセッション事業が拡大していくなど、市場環境は緩やかではありますが刻々と変化しています。

また、少子高齢化社会が進む我が国において、担い手を確保し生産体制を維持していくことはまさに喫緊の課題となっており、国・業界を挙げて「働き方改革」と「生産性向上」への取り組みが行われています。

中期経営計画(2018-2020年度)の目標達成に向けて

持続的成長を目指した中期経営計画(2018-2020年度)の最終年度となる2020年度においても、コンプライアンスを全ての事業活動の前提として以下の取り組みを推進し、社会から必要とされ続ける企業を目指してまいります。

取り組み

- ①景観性・耐久性の高い石張舗装の「インジェクト工法」、アスファルト舗装の長寿命化を実現する「リラックスファルトHT舗装」、ヒートアイランド対策となる「保水性舗装」など当社の強みを生かした「さらなる収益力の向上」
- ②維持修繕事業や建築事業、海外事業、再生エネルギー事業等の「新たな事業分野への取り組みの強化」
- ③IT技術の活用や人事諸施策などによる「働き方改革・生産性革命」
- ④担い手を確保し生産体制の維持に向けた「人材の獲得及び育成強化」

- ⑤ものづくりを行う企業の責務として「安全・環境・品質トラブルの撲滅」
- ⑥大成建設グループ、大成ロテックグループとの「グループ連携強化」

「自然」と「社会」と「人」に深くかかわる企業として

近年、自然災害の発生が続き被害が甚大化している中、当社は企業の社会的責任を果たすことを念頭に事業活動を継続してまいります。そして、これからも道路建設を中心とした社会基盤の整備にかかわりながら、企業理念である「自然と社会と人に深くかかわる企業として、人々のためにより良い環境を創造する」ことを実現してまいります。

働き方改革と生産性革命

当社は、将来の担い手確保を重点課題の一つと位置付けており、全社一丸の取り組みとして、2020年度より、新入社員には配属先の繁忙度・状況に拘わらず、土・日休暇100%完全取得を保証しています。

長時間労働の削減、休日取得に対する意識改善を行い、就業時間選択制、変形労働時間や時間有休制度など、多様性のある働き方の取り組みによって、魅力ある職場づくりを推進していきます。

また、働き方改革を進めるには、生産性の向上が必須となることから、ICT舗装の推進、自動化・無人化等の工法・機械の開発、業務効率化のためのシステムの導入を進めるほか、年間工事消化量の偏りの平準化、安全・品質トラブル防止、業務改善の推進などの取り組みも併せて推進していきます。

当社の未来

建設市場は一定の規模を維持していくものと見られますが、当社はその先の未来を見据え、時代や環境の変化に対応していき、持続的成長を実現していくための経営基盤を強化していきます。

当社は、2021年に創立60周年を迎えます。大成建設グループの中核を担う企業として、これからも社会に必要とされるために、道路業界における「名実ともにNo.1」を目指し挑戦していきます。